

1. 計画名称

林業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4・総括評価共通) 森林整備については、目標値にはとどいていないが、国・県の補助事業を活用し整備を継続的に実施しています。また、森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度の運用を進め、意向調査の結果で搬出等可能な森林については林業事業者へ繋ぎ、そうでない森林については、茅野市森林経営管理事業で間伐事業が実施できています。間伐材の有効活用と森林づくり教育活動については、コロナ禍の影響等あり研究や検討が進んでいない状況です。
今後の重点化 施策番号	1	説明	森林整備に繋げる取り組みを行っていますが、森林整備の未整備個所がまだ多くあるため、県林務課や地元林業者等の関係者と連携して、森林所有者(財産区役員等の含め)が森林整備への理解を深めるための取組や、補助金等の活用の支援を行い、多様な森林整備及び環境保全の推進の継続が必要と考えます。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	多様な森林整備及び環境保全の推進(1)	おおむね順調	(R4・総括評価共通) 第3期森林税事業の最終年となり、補助を活用し、間伐や支障木伐採の里山整備等が実施できた。森林環境譲与税を活用した、森林経営管理制度事業を進める為、地元説明会の開催を実施しながら森林整備に繋げていく取組が行えた。	(R4・総括評価共通) 森林整備の未整備個所がまだ多くあるため、森林環境譲与税を活用し、森林整備を行い、森林所有者へ制度が周知できるように森林整備を進めていくとともに、喫緊の課題となっている主要道路沿いの支障木の対応等も必要となっている。	森林税事業が延長となり(第4期)引き続き補助を活用し森林整備を進める。森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度に取組み、未整備となっている個人有林の整備を実施することで更なる森林整備を推進する。意向調査を計画的に実施し森林整備へ繋げていく。
2	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用(2)	やや遅れている	(R4・総括評価共通) ・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(5台を補助) ・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用(鹿山地区もりぐらし)	(R4・総括評価共通) ・市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。(搬出経費、ストックヤード、林業者担い手不足) ・主に切り捨て間伐材により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法・仕組みの模索。(搬出経費、作業道)	・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。
3	森林づくりを支えるための教育活動(3)	やや遅れている	(R4・総括評価共通) 予定されていた、みどりの少年活動が新型コロナの影響を受け実施できなかったが、永明寺山学有林活動として、永明小学校の児童による森林作業が行われ、活動を通して森林の学びの取組となった。	(R4・総括評価共通) 学有林活動等の作業を通じ、林業や森林に対する意識改革へどのように繋げていくかが課題	みどりの少年団活動を中心に、山や緑を育む催しへの積極的な参加の呼びかけ森林整備を身近に感じてもらう森林への意識付けを図る。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		<p>・1年延長の目標について、従来通りの森林の持つ多面的要素を基盤に防災・減災を考慮しながらの森林整備。</p> <p>・森林づくり県民税事業の新たな方針である主伐・再造林に対応できるよう「伐採・利用・保育」の遵守。</p> <p>・再造林により「2050カーボンニュートラル」への環境改善。八ヶ岳西麓地域共生会議の主旨も取込み多様な機能を持つ森林づくり。</p> <p>・森林所有者が無関心。自分の林を子供たちに伝えていくことができていない。自分の山がわからないなど困っている。</p>	<p>・森林税事業が延長となり、引き続き国・県補助を活用し、森林の状況に合った森林整備を進める。</p> <p>・森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度に取組み、未整備となっている個人有林の整備を実施することで、森林所有者へ理解を深めていただき、更なる森林整備を推進する。</p>
茅野市林業振興ビジョン推進部会			
開催回数	1		
参加延べ人数	13		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			